

会議記録

日 時：平成 28 年 9 月 2 日（金）13 時 30 分～14 時 40 分

場 所：高森町役場 中会議室

出席者：委員 計 13 名

事務局：健康福祉課 計 6 名

記 録：古林

1. 開会

2. あいさつ

（課長）

日本一のしあわせタウンをめざし、生きていく中で食はとても大切なものである。第 2 次高森町食育推進計画ができ、町としても「食育」を通して、伝えていけるようにしていきたい。

3. 自己紹介

・日頃の取り組み、大切にしていることなどを加えて自己紹介を行った。

（委員）

・北小料理クラブで、子ども達に対し、支援している。

・農畜産物の発信に力を入れていきたい。

・JA 女性部では、目的別グループで料理教室を実施している。

・個人的になる。自分は糖尿病であり、食生活をとわれている。今のところ、出来ているのは内服のみだけである。

・給食センターの検討会に入れてもらったが、食べるものの中身については、こちら（食育推進会議）だと言われた。真田町学校給食の大塚先生が食は精神的なものまで影響すると言われている。子ども達の口に入るものを大切に考えていきたい。

・6 年間保育園で給食を作っていた。そこで、食育を勉強した。そのこともあり、一緒に食育をやりたい思いである。

・栄養士の養成をしている。

・現在、新たな給食センターを建設中である。

・専門は理科である。体の消化についてふれている。給食委員会では献立を作ったり、食をどのように広めていくか検討したりしている。

・6 年生を対象に食の授業を行っている。

・子どものからだを食で育んでいく意識でいる。出されたものを食べる力を身につけることも大切に考えている。

・子どものうちに味覚形成がされる。保育園では、その大切な時期に当てはまる。

- ・子どもの成長に併せて、課題があるように感じている。
- ・日頃から地産地消を意識している。小さな頃からどういうものを食べたらいいか。有機のものを選んで見せて教えている。からだを育むためには、野菜だけでなく、たんぱく質も大切である。食事は“いのちをいただく”“作ることも労力”それを感謝していただく。幼い頃からの実践を大切にしている。

4. 協議

(1) 第2次高森町食育推進計画について

(古林説明)

資料①第2次高森町食育推進計画 概要版

確認内容

- ・食育とは？国が食育基本法を制定し、進めている。①生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの、②様々な体験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。
- ・計画の趣旨
- ・計画の推進体制は、家庭を中心に考え、地域、周りの関係団体も一緒になり、食育をひろげていく考えである。
- ・5つの「目標」1. 朝食の欠食割合の減少、2. 肥満割合の減少、3. 高血糖（HbA1c5.6以上）の割合の減少、4. 地産地消の割合の増加（地産地消を意識して買い物をしている町民の割合）、5. 食育を理解している割合の増加（食育という言葉を知っている町民の割合）

(委員)

：町立保育園では小児の肥満の基準を何で見ているか。吉田河原では、カウプ指数で見ている。

：近年、肥満度で見る傾向があり、現在は両方出している。

：給食センターで朝ごはんの全件調査を行った。小学校では朝食欠食割合 11.3%となっている。欠食と答えた子どもに問うと、牛乳しか飲んでこなかった。パンを食べて来た。と言った。「朝ごはん」の捉え方が、子ども達の中で差がある。

食べない子どもは確かにいる。個別でアプローチしていかないといけないと思う。また、どんなものを食べていくかが大切である。1品でも多く考えていけるようになると良い。

：年長、年中アンケートを行っている。

：朝早いお家では、おにぎりを持ってくる。当初、菓子パンを持ってくることもあったが、やめてもらった。朝食内容は分からない。お菓子を食べてくる子どもさんもい

課長：消防団、お父さん世代が大切であるが、抜けている様にも考えられる。

(2) 今後の取り組みについて

(古林説明)

資料②高森町 食に関する団体一覧

- ・高森町では、すでに地域で食に関する取り組みを行っている方々がいる。第2次高森町食育推進計画を策定するに当たり行った意見募集の中でも多くの方が、横のつながりを持ち、町として取り組む必要があることが出されている。今回、この会議で、その横のつながりを作っていきたいと考えている。現在、調べただけでもこれだけのグループがあることが分かった。まだ、皆さまの周りでの活動があれば教えていただきたい。また、皆さん、意欲のある方々が活動をされているため、日頃の活動の中で、お願いできるところがあれば、声をかけていっていただきたい。
- ・高森町女性職員で構成されている「ほっ♡たかもり」で、女性の活躍に着目し、2月に「食を通じた集い」を行う。そこで、横のつながりが持てるようにしていきたい。また、食育推進員としても参加できるようにしたい。
- ・今後の取り組みの希望の確認
特になし。

(委員)

: アルコールを飲むと朝食べられない。5歳の孫を預かっている。夜早く寝ないと朝起きられない。朝早く起きれば、朝食を食べて、保育園へ楽しく行ける。食事は和食中心である。

子どもが中学の頃、朝食を6時に食べた。家族で食べるのは難しい。小学6年まで、家族がそろわないと食べなかった。一緒に食べることは大切だと訴えたこともあった。食は生活に続いていく。食育推進員は何が出来るか？伝えていくことができる。

2月食育推進員が出来る取り組み。ツールになる。

食生活は築かれてしまふとなかなか変えにくい。お菓子や添加物など、さまざまなものがあふれている。

(古林説明)

: 今後の予定：あと2回11月頃、次年度の活動にむけて何かできること、取り組みたいことを検討する。そして、2月末頃を考えている。(次回会議開催 1月へ変更)

5. その他

- ・アンケートの協力依頼

6. 閉会